## 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

| 出願人代理人<br>小栗 昌平   | 期限:2005月29日   |
|---|---|
| 様しあて名   |   |
| 〒 107-6013<br>東京都港区赤坂一丁目12番32号<br>アーク森ビル13階 栄光特許事務所   | PCT<br>国際調査機関の見解書<br>(法施行規則第40条の2)<br>(PCT規則43の2.1)                                       |
|   | <sup>発送日</sup> (日. 月. 年) <b>21.12.</b> 2004   |
| 出願人又は代理人<br>の書類記号 P04981200   | 今後の手続きについては、下記2を参照すること。   |
| 国際出願番号<br>PCT/JP2004/012593 (日.月.年) 25.08.2   | 優先日<br>(日.月.年) 29.08.2003   |
| 国際特許分類 (IPC) Int. Cl' H04N5   | /335, H01L27/14   |
| 出願人(氏名又は名称)<br>ローム株式会社  | 000, 1101127/14   |
| それを裏付けるための文献及び説明<br>第VI欄 ある種の引用文献<br>第VII欄 国際出願の不備<br>第VII欄 国際出願に対する意見<br>2. 今後の手続き<br>国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調 | 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、<br>査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国<br>国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の目解書ともなって |
| この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみ  | なされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か<br>期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に 適当                                |
| さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照する   |   |
| 3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参   | 照すること。  |
| 見解書を作成した日   |   |

| 見解書を作成した日                                  |                          |             |  |  |
|--|--------------------------|-------------|--|--|
| 01.12.2004                                 |                          |             |  |  |
| 名称及びあて先<br>日本国特許庁 (ISA/JP)<br>郵便番号100-8915 | 特許庁審査官(権限のある職員)<br>徳田 賢二 | 5 P 9 6 5 4 |  |  |
| 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号                          | 電話番号 03-3581-1101 月      | 7線 3502     |  |  |

| 第 I 欄 見解の基礎             |   |
|-------------------------|---|
| 1. この見解書は、7             | <b>下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。</b>   |
| この見解書は<br>それは国際調        | 、 語による翻訳文を基礎として作成した。<br>査のために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。                                   |
| 2. この国際出願で閉<br>以下に基づき見解 | 引示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、<br>军費を作成した。  |
| a. タイプ                  | 配列表   |
|                         | ■ 配列表に関連するテーブル  |
| b. フォーマット               | □ <b>書</b> 面  |
|                         | □ コンピュータ読み取り可能な形式   |
| c. 提出時期                 | 出願時の国際出願に含まれる   |
|                         | この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された  |
|                         | 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された <sup>1</sup>   |
| 3.                      | 表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し<br> 時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が<br> |
| 4. 補足意見:                |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
|                         |   |
| _                       |   |

## 国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2004/012593

| 第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、<br>それを裏付る文献及び説明 |       |       |  |  |
|---|-------|-------|--|--|
| . 見解  |       |       |  |  |
| 新規性(N)  | 請求の範囲 |       |  |  |
|   | 請求の範囲 | 1 – 7 |  |  |
| 進歩性(IS)   | 請求の範囲 |       |  |  |
|   | 請求の範囲 | 1 – 7 |  |  |
| 産業上の利用可能性 (IA)  | 請求の範囲 | 1 – 7 |  |  |
|   | 請求の範囲 |       |  |  |

## 2. 文献及び説明

文献1: JP 10-145681 A (ソニー株式会社) , 1998.05.29

請求の範囲1-7に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1(段落【002 1】-【0053】)に記載されているので、新規性、進歩性を有しない。